

2021.2.26

Dance Base Yokohama



2020年12月27日・28日「ダンスのアクセシビリティを考えるラボ～視覚障害者と味わうダンス観賞篇～」より

©Naoshi HATORI

Dance Base Yokohamaで開催した「ダンスのアクセシビリティを考えるラボ～視覚障害者と味わうダンス観賞篇～」のドキュメンタリー映像が2月26日(金)より「THEATRE for ALL」で公開

Dance Base Yokohama (DaBY/デイビー)は、2020年12月に「ダンスのアクセシビリティを考えるラボ」を開始し、第1回目の企画として「視覚障害者と味わうダンス観賞篇」を開催しました。本研究会は、DaBYアソシエイトコレオグラファーの鈴木竜が自身のソロ作品をアンサンブルとして再編したダンス作品を、ディスクリャイバーによる解説とともに、視覚障害者モニターが観賞する取り組みです。DaBYより「作品を描写する」ディスクリャイバーとして、批評家の乗越たかお氏、詩人の大崎清夏氏、美学者の伊藤亜紗氏、インタープリター（解釈者）の和田夏実氏の4名に依頼し、それぞれによる解説が行われました。「言葉で伝える」プロフェッショナルでありながら、仕事や経験が異なる4つのディスクリャイブは多様な観賞体験を生み、ファシリテーターとして迎えた「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」代表の林建太氏及び、視覚障害者で同スタッフの中川美枝子氏、浦野盛光氏を中心に、活発に意見が交わされました。これらの3日間の様子をまとめた約20分の短編ドキュメンタリーが、2月26日(金)よりバリアフリーと多言語に特化した動画配信プラットフォーム「THEATRE for ALL (シアターフォーオール)」で公開されます。

本ドキュメンタリーは、研究会の中で生まれたアイデアや工夫の声を広く一般に公開するために、無料で配信されます。また、公開期間は定めず無期限となる予定です。これにより、本研究会で目的とした、視覚障害者にとって「ダンス観賞に必要なサポートは何か」を探るだけでなく、全ての観賞者にとって「ダンス観賞とは何か」という、ダンスの新しい可能性を模索した様子をより多くの方々と共有することをめざしています。

<DaBYアーティスティックディレクター唐津絵理よりコメント>

コンテンポラリーダンスは、観賞方法に正解がないため、「見方がわからない」「観賞のハードルが高い」と感じられることが少なくありませんでしたが、今回、モニターの方々が「わからなさ」を積極的に冒険として楽しんでくださっていることに勇気をもらいました。これからダンスのアクセシビリティを高めるためにDaBYでどのようなことができるのか、ここをさらなる出発点として、皆さんと共に考え探っていきたいと考えています。

DaBYは、今後も「ダンスのアクセシビリティを考えるラボ」を継続的に開催し、これまでダンスにアクセスすることの難しかった人々へのアクセシビリティを高め、ダンス観賞者を増やしていくための多様な取り組みを続けてまいります。

■本研究会への参加者のプロフィール及び詳細

https://dancebase.yokohama/event_post/20201211-1228

■「ダンスのアクセシビリティを考えるラボ～視覚障害者と味わうダンス観賞篇～」視聴URL

<https://theatreforall.net/movie/dancebaseyokohama/>

■「ダンスのアクセシビリティを考えるラボ～視覚障害者と味わうダンス観賞篇～」レポート前編

<https://theatreforall.net/feature/feature-daby-1/>

※後編も近日中に公開予定です。

CREDIT

プロジェクトメンバー

唐津絵理 (DaBYアーティスティックディレクター・愛知県芸術劇場シニアプロデューサー)

吉田拓、田中希、二河茉莉香 (DaBY)

兵藤茉衣、関萌美 (株式会社precog)

林建太、浦野盛光、中川美枝子 (「視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ」)

プロジェクトパートナー

●ディスクライバー

伊藤亜紗 (東京工業大学科学技術創成研究院未来の人類研究センター、リベラルアーツ研究教育院准教授)

大崎清夏 (詩人)

乗越たかお (作家・ヤサぐれ舞踊評論家)

和田夏実 (インタープリター)

●研究会ゲスト

山上庄子、松田高加子 (Palabra株式会社)

渡邊淳司 (NTTコミュニケーション科学基礎研究所 上席特別研究員)

●ダンス作品創作/出演

四家卯大 (チェリスト)

鈴木竜 (振付)

池ヶ谷奏、藤村港平、畠中真濃、神村結花 (ダンサー)

視覚障害者モニター

井戸本将義、伊奈喜子、藤本昌宏、松本晶子、山崎康興

CREDIT

オブザーバー

小尻健太 (DaBYダンスエバンジェリスト/ダンサー・振付家)
ハラサオリ (DaBYレジデンスコレオグラファー/ダンサー・美術家)
吉開菜央 (映像作家/振付家/ダンサー)

記録

撮影 羽鳥直志
レポート 河野桃子

上演作品

『AFTER RUST』ショートバージョン
演出・振付・美術 鈴木竜
音楽 J.S. バッハ 無伴奏チェロ組曲
編曲 四家卯大

映像

映像制作 ディレクターズ・ユニブ
映像ディレクター 三間旭浩

「ダンスのアクセシビリティを考えるラボ～視覚障害者と味わうダンス観賞篇～」

日程

第1回 12月11日(金)
第2回 12月27日(日)
第3回 12月28日(月)

会場 Dance Base Yokohama

企画・制作 Dance Base Yokohama、株式会社precog

主催 Dance Base Yokohama

共催 THEATRE for ALL

「THEATRE for ALL」

主催

文化庁

令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業『文化芸術収益力強化事業』
バリアフリー型の動画配信プラットフォーム事業



株式会社precog

PROFILE

Dance Base Yokohama



プロフェッショナルなダンス環境の整備およびダンスに関連するあらゆるクリエイター育成に特化した事業を企画・運営する、ダンスハウス。複合芸術であるダンスの発展のため、振付家やダンサーといったアーティストのみならず、音楽家、美術作家、映像作家、照明デザイナー、音響デザイナー、またプロデューサーやプロダクションスタッフ、批評家、研究者、そして観客の皆様の交流拠点になることをめざしています。

名称	Dance Base Yokohama (ダンスベースヨコハマ)
愛称	DaBY (デイビー)
所在	KITANAKA BRICK&WHITE (北仲ブリック&ホワイト) BRICK North 3階 神奈川県横浜市中区北仲通5-57-2
URL	https://www.dancebase.yokohama
開館時間	10:00 - 18:00 (火~土/日・月 休) ※日曜日には、トライアウト公演やワークショップを実施する場合があります。 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日に休館いたします。 ※年末年始、お盆期間に休館有り。詳細はウェブサイトにてご確認ください。
アーティストックディレクター	唐津絵理 (愛知県芸術劇場シニアプロデューサー)
運営	一般財団法人セガサミー文化芸術財団

THEATRE for ALL (シアター フォー オール)



株式会社precogが、日本で初めて演劇・ダンス・映画・メディア芸術を対象に、日本語字幕、音声ガイド、手話通訳、多言語対応などのバリアフリー対応のオンライン型劇場です。2月から3月にかけて映像作品約30作品、ラーニングプログラム約30本を配信予定。様々なアクセシビリティに対してリサーチ活動を行う「THEATRE for ALL LAB」を立ち上げ、障害当事者やその他様々な立場の視聴者、支援団体などと研究を重ねています。また、作品の配信に加え、鑑賞者の鑑賞体験をより豊かにし、日常にインスピレーションを与えるラーニングプログラムの開発に力を入れています。

THEATRE for ALL <https://www.theatreforall.net/>

THEATRE for ALL LABマガジン https://note.com/theatre_for_all